

その他の木材・木製品製造業における飛来・落下災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	15~16	工場の1階において、昇降盤を使って木の加工中に1.5cm角の木切れが飛んできて、左目に当たり負傷した。	76	—
3	13~14	倉庫内で出荷する木材の取り出し中、ラック上に積まれた木材の上段部分を取り出したときに、その下にあった木材が崩れて落下し、左足首に当たり受傷した。	47	50~99
3	11~12	同社工場内原料外ヤード置場において、搬入業者が持ち込んだダンプ車両から廃棄物である生木の荷卸し作業中、当該車両がダンプアップした際、生木が転がり、誘導のため後方にいた被災者側に転がり落ち、生木が被災者の左鎖骨部分に当たり負傷した。	58	1~9
7	14~15	本社工場にて作業するため釘鉄砲を準備する際、鉄砲のトリガーを引いたまま脚に鉄砲を当ててしまった。その際、誤発射してしまい、釘が脚に刺さり、右脚を負傷した。	18	50~99
7	15~16	工場内にて、約2m程先の場所へ材木（コンパネW1200H2400重さ約20kg1枚）を移動させるため持ち上げた際、手が滑り、50cm程上から左足親指の上にコンパネが落下した。	19	10~29
7	16~17	支店倉庫内にて、金槌を使用して木製パレット解体作業中、右手に持った金槌を誤って手から滑らせ、右足小指に落とし受傷した。	36	1~9
7	12~13	建築資材の木材を加工する工場にて、加工された木材を梱包するため、木材同士を束ねようとしたとき、木材（高さ10.5cm、幅10.5cm、長さ350cm）が、右足の安全靴に落下（高さ1m）し、右足の甲を負傷した。	39	100~299

9	16～ 17	当社木工部に於いて、昇降盤にて端材ベニヤを切断中、ベニヤが丸のこにつまりキックバック（反発）し、被災者の腹部に激突し、負傷した。パネルソー（ベニヤ切断機）で切断していれば、キックバックする事はなかった。	56	10～ 29
10	10～ 11	工場内で、ギャングソーで、木製位牌を作成するため切断加工していた際、残りの木材が鋸刃に触れ引っかかり、反発して戻り、よけきれず、右手甲にあたりを負傷した。	65	1～ 9
11	10～ 11	工場において、家具の製造作業中、木材を加工するため昇降盤で切断していたところ、昇降盤の刃が木材を噛み跳ね返った木片が左手に当たり負傷した。	74	1～ 9

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html